

平成29年度 飛騨市の予算 一般会計 172億4,000万円

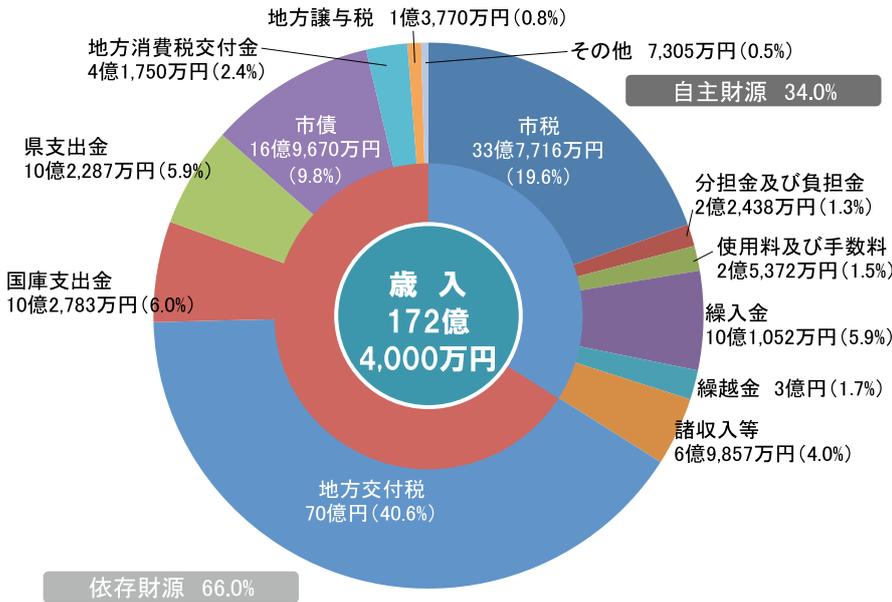
市議会3月定例会において、平成29年度当初予算が可決されました。一般会計、特別会計及び企業会計の総額は288億3,796万円、前年度本格予算と比較して7億8,376万円増加(+2.8%)となり、市民お一人おひとりの思いに寄り添った市政実現に向け、あらゆる分野の政策に磨きをかける「進化」の姿勢を重要視した予算を編成しました。

会計区分	予算額	対前年比
一般会計	172億4,000万円	+2.3%
特別会計	88億3,300万円	+4.5%
企業会計	27億6,496万円	+0.9%
総額	288億3,796万円	+2.8%

※増減率は、平成28年度本格予算との比較です

■ 予算の特徴
地域の自然資源を活かし、成長の芽を大きく伸ばしながら、市が直面している人口減少という課題に立ち向かい、飛騨市が未来に向かって発展していくため、
▼元気の飛騨市をつくる
▼あんな飛騨市をつくる
▼誇りの持てる飛騨市をつくる
を3本柱とした予算です。
具体的には、市民の暮らしに密接に関わる福祉・生活分野の充実に加え、ノーベル物理学賞受賞者輩出、古川祭ユネスコ無形文化遺産登録やアニメ映画「君の名は。」大ヒットなどの飛騨市を飛躍させる大きなチャンスを活かした観光・産業振興を重点施策と位置づけ、「元気で、あんな誇りの持てる、ふるさと飛騨市」を創造する事業を本格展開します。

● 一般会計歳入



● 特別会計・企業会計予算の内訳

会計区分・会計名	予算額
特別会計	88億3,300万円
国民健康保険	33億2,800万円
後期高齢者医療	3億8,320万円
介護保険	33億2,000万円
公共下水道事業	9億7,850万円
特定環境保全公共下水道事業	1億8,750万円
農村下水道事業	3億1,500万円
個別排水処理施設事業	1,600万円
下水道汚泥処理事業	1億7,000万円
駐車場事業	420万円
情報施設	9,300万円
給食費	3,760万円
公営企業会計	27億6,496万円
水道事業	8億555万円
国民健康保険病院事業	19億5,941万円

■ 一般会計歳入の状況
市税は地価の下落に伴う固定資産税の減少傾向が続くものの、市民税の回復や償却資産の増加等により、全体では前年度より微増を見込んでいます。
また、地方交付税は国の算定方法の見直し等による影響が不透明なため、前年度と同額を計上しました。
市債は交付税措置のある有利な起債を活用することを基本として、平成30年度までが発行期限となっている貸付特例債は、老朽化した特別養護老人ホーム和光園の建て替えなどの障がい・福祉の拠点整備や、宇宙物理学研究所施設を初めとした未来の観光振興に資する施設整備に重点配分し、市債全体では前年度より2億1千5百万円増額となっています。
繰入金は前年の1月～12月に収入したふるさと納税を基金化した後、翌年度に基金からの取り崩しを行う、ふるさと創生事業基金繰入金や財源不足を補う財政調整基金繰入金の増などで前年度より4億2千6百万円増額となっています。
なお、当初は財政調整基金繰入金を予算化しておりますが、今後、地方交付税や繰越金の見通しが立ち、予算に対して一定の上振れが生じた場合には優先的に同基金への積み戻しを行うものとし、安定した健全財政の運用を図ります。

▽総務費(前年比+3.0億円)
市民の安全な生活の維持向上を図るため、大規模災害に備えたドローンによる災害物資輸送体制の確立や、地域における防災リーダー育成支援のほか、レールマウンテンバイク現行区

■一般会計歳出の状況
福祉・生活分野の充実、チャンスを活かした交流人口拡大を図る観光・産業振興策、歴史・自然資源を活かした地域の自慢や人づくりを推進するための予算を計上しました。

間内の橋梁安全対策工事、旧神岡鉄道車輛「おくひだ1号」の移設・展示を行い、全国に知られるレールマウンテンバイクの更なる魅力向上を図ります。
▽民生費(前年比+3.7億円)
障がい児者日中一時支援事業所の整備や、人材不足が深刻となっている介護人材の育成・確保対策事業に取り組みます。
また、子育て世帯へのアンケートの実施により、入園入学祝い金制度を市民ニーズに合った入園・入学準備品購入支援事業に見直しました。

▽衛生費(前年比+1.1億円)
全国初の国保診療所方式となる児童精神科診療所(仮称・飛騨市こどもこのころクリニック)の開設に向けた医療用機器整備や施設の改修を行います。
▽農林水産業費(前年比△1.0億円)
新規就農者や担い手農家の育成・確保を目指し、就農者支援ホームページを新たに立ち上げるとともに、新たな支援制度を創設し、小規模森林整備の推進や繁殖雌牛増頭による飛騨牛生産基盤の強化を図ります。

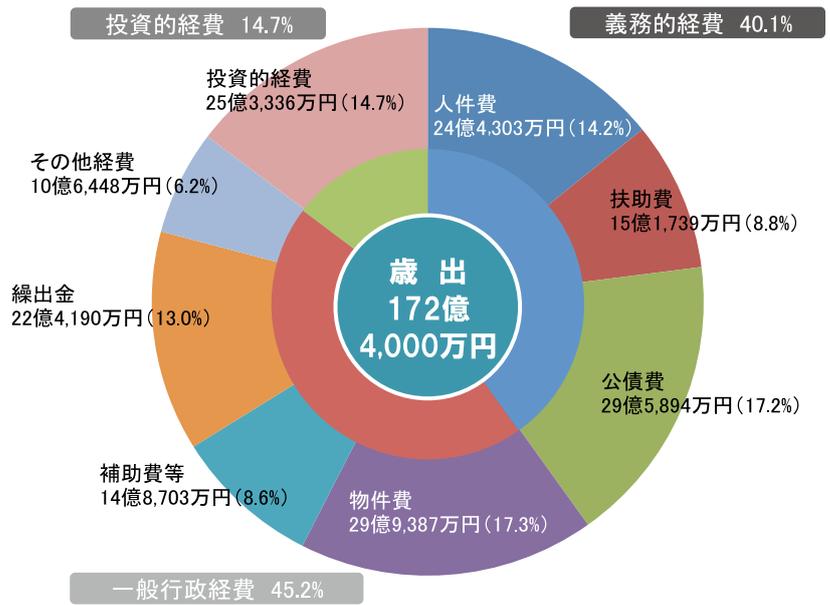
▽商工費(前年比△1.1億円)
支えが必要な方にも優しいバリアフリーの観光地づくりを目指し、市役所前「ふるかわや」多目的トイレのユニバーサル化や古川駅前観光案内所トイレ洋式化改修、池ヶ原湿原遊歩道のバリアフリー整備を行います。
また、古川祭のユネスコ無形文化遺産登録を契機として、同じく登録された近隣自治体と連携した観光誘客や市民交流促進事業を行うとともに、飛騨古川まつり会館の映像及び映像機器をリニューアルします。

▽土木費(前年比△1.3億円)
国・県の補助事業を活用し、市民の生活を支える道路の新設改良や橋梁長寿命化修繕補修、公園整備を行います。
▽消防費(前年比△0.6億円)
市内の消防力の維持増強を図るため、消防自動車1台と神岡消防署指揮車、消防団小型動力ポンプ及び積載車3台を更新します。
▽教育費(前年比+0.9億円)
入園入学祝金制度見直しにかかるアンケート結果を踏まえ、経済的な理由によって大学等での修学が困難となる低所得世帯に対する給付型奨学金制度を創設するとともに、中学校部活動における遠征や各種大会出場時のバス借上げや交通費に対する補助を拡充します。
また、市内の価値ある資源を地域の自慢として磨き上げ、市民が誇りを持って後世に未永く伝えてもらえるよう、姉小路氏関連城館群(山城跡)の整備活用や、江馬氏館跡庭園の県内初となる国の「史跡」と「名勝」の両指定を見据えた保存活用計画の策定を行います。

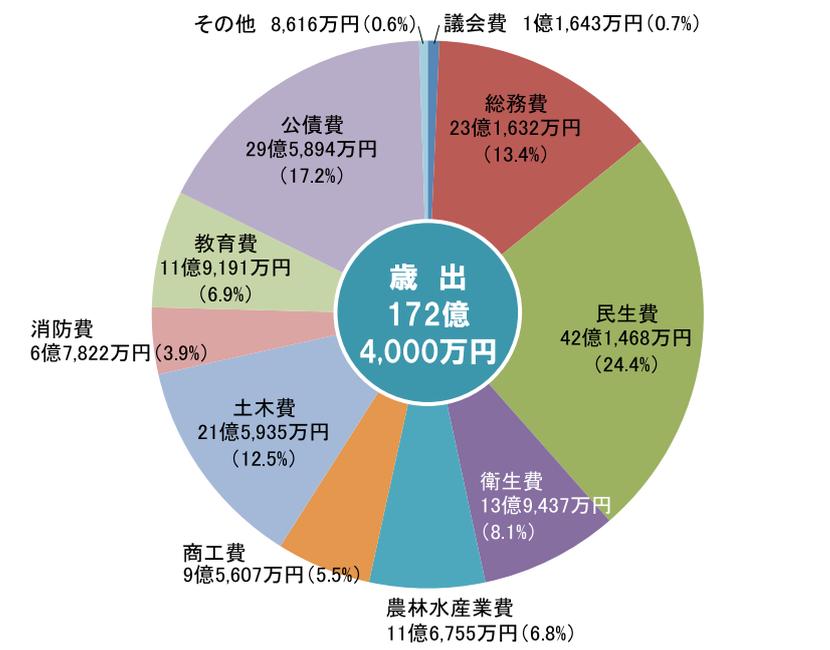
次のページからは、平成29年度の主要事業を紹介いたします。
また、予算の概要・各主要事業の詳しい内容は市のホームページでもご覧になれます。

次ページからは、平成29年度の主要事業を紹介いたします。
また、予算の概要・各主要事業の詳しい内容は市のホームページでもご覧になれます。

●一般会計歳出(性質別)



●一般会計歳出(目的別)



●市民福祉部

入園・入学準備品購入費用への支援……………2,500万円
これまでの入園入学祝い金制度を見直し、市民のニーズに基づき新たに入園入学時の被服購入や高校入学時の教科書等の購入を支援します。

まめとく健康ポイント制度の創設……………150万円
市および個人があらかじめ設定した健康づくりメニューの達成にポイントを付与し、健康づくりへの動機づけと継続を促す制度を創設します。

こどものこころクリニックの開設……………1,675万円
飛騨地域の発達支援体制の向上を目的に、児童精神科診療所「こどものこころクリニック」を全国の自治体として初めて開設します。

養護老人ホーム和光園の建て替え……………4億3,676万円
老朽化が進行している和光園の全面建て替えを行い、高齢者の福祉環境の向上を図ります。

障がい者グループホーム等の整備……………970万円
和光園の建替えを機に旧和光園をリノベーションし、障がい者グループホーム、有料老人ホーム等の複合施設整備に向けた設計を行います。



●基盤整備部

生活を支える道路・橋梁の整備……………5億3,960万円
市民の生活を支える道路の改良およびきめ細やかな修繕、老朽化した橋の点検および補修を行います。

市道壱之町線の無電柱化……………1,037万円
古川祭の屋台曳行や曳き揃えが行われる壱之町線の無電柱化を進め、歴史ある古川祭とマッチした街並み景観の整備をします。

●農林部

就農者支援のホームページの制作……………138万円
新規就農者確保対策として、農業に関心のある市外在住者が就農に必要な情報を取得できるよう市HP内に特設ページを設置します。

小規模森林整備の推進……………82万円
市内里山林整備の推進と良好な農村環境を維持するため、県自伐林家型地域森林整備事業への上乗せ補助を行う新たな制度を創設します。

繁殖牛増頭による飛騨牛生産基盤の強化……………200万円
増頭を目的に牛舎を整備した農家を対象に、増頭分に係る繁殖雌牛の導入経費の一部を助成する新たな制度を創設します。

平成29年度の

主要事業

主な事業の概要と
予算額を紹介します



●総務部

ドローンによる災害時物資輸送体制の確立……………75万円
楽天株式会社と相互に協力し、被災時のドローン活用と物資輸送に向けた実証実験及びオペレーターの養成を行います。

地域防災リーダーの育成……………30万円
地域の防災リーダーとして被災時の応急活動に行政とともに活動する防災士の資格取得に要する費用を支援します。

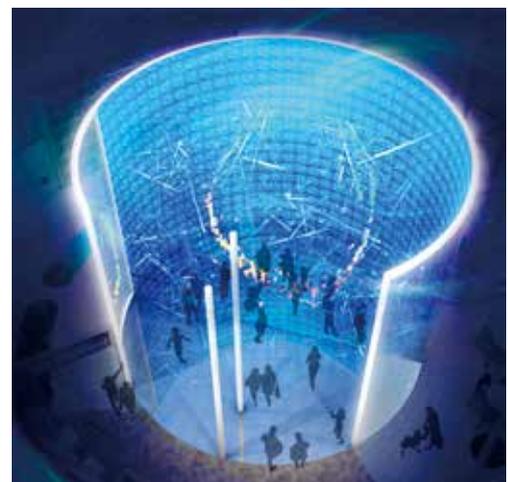
防災行政無線・情報インフラ整備基本構想の策定…891万円
CATV、CATVインターネット、防災無線等を対象に現状分析及び課題整理を行い、整備に係る基本構想を策定します。

●企画部

宇宙物理学研究を伝える新たな場の整備…2億75万円
宇宙物理学研究所を全国に紹介し、飛騨市への観光誘客を推進するため、研究を分かりやすく伝える施設を宙ドーム内に整備します。

レールマウンテンバイク溪谷コース開設ほか…5,650万円
飛騨市の魅力向上の拠点整備として、レールマウンテンバイクの新コース（溪谷コース）の開設および周辺環境整備をします。

イベント交流バスの運行……………200万円
市内交流の促進やこれまで知らなかった魅力を市民相互に共有するため、各町からイベントにアクセスできる交流バスを運行します。



体験型シアターのイメージ

●介護保険特別会計

高齢者の生活支援体制の整備推進……………765万円
介護ボランティアポイント、支えあいヘルパーの養成など、地域支え合いの生活支援体制を推進し、専門職では手の届かない部分をサポートします。

在宅介護の負担軽減支援……………300万円
福祉用具購入費助成によりポータブルトイレの普及を図り、在宅介護で最も大変な排泄介助の負担軽減を図ります。

●消防本部

消防OAシステム導入による業務の効率化……………390万円
消防業務の効率化と維持管理費用の低減を目的とし、新たに消防OAシステムの導入を図ります。

消防車両の更新……………4,878万円
市内における消防力の維持増強を図るため、北分署配置の消防自動車1台と神岡消防署の指揮車を更新します。

●公共下水道事業特別会計

公共下水道汚泥減量化の推進……………1,310万円
新たな種菌導入と設備改修を行うことで、浄化センターの浄化力向上を図り、処理水質の安定と下水道汚泥の減量を推進します。

●水道事業会計

水道施設耐震診断・劣化調査の実施……………1,710万円
水道施設の安全性確保と長寿命化のため、水源地など基幹施設の耐震診断および劣化調査を行います。

石綿管交換による水の安定供給……………1,800万円
安全・安心かつ安定した水を供給するため、老朽化した石綿セメント管の敷設替を推進します。

●国民健康保険特別会計

国民健康保険人間ドックへの助成……………64万円
市の国民健康保険加入者が行う人間ドックに対する助成を行い、疾病の早期発見・治療を図るとともに医療費の抑制を図ります。

この他の事業については市ホームページでご覧いただけます。

●商工観光部

ユネスコ登録自治体との連携および交流促進…169万円
高山市・高岡市・南砺市と連携して祭りを切り口とした飛越周遊観光を促進するとともに、飛越市民交流を目的とした日帰りバスツアーを行います。

飛騨古川まつり会館映像等のリニューアル…3,575万円
古川祭のユネスコ無形文化遺産登録という機会を活かし、まつり会館の魅力向上・PR強化のため、4K映像の導入と機器の更新を行います。

飛騨市観光協会の体制強化……………4,172万円
飛騨市観光の中心的組織である観光協会の体制強化を図るため、事務局長の専任化等に必要な支援を行います。

ネットショップ運営人材の育成……………500万円
市内で生産される食品、工芸品、お土産等特産品が購入できるネットショップの開設と運営に必要なノウハウを有した人材育成を図ります。

希少伝統産業後継者の独立創業支援……………300万円
市の希少伝統産業の技術後継者を育成し、後世への伝統技術継承を図るため、研修者の独立創業に要する経費の一部を助成します。



●教育委員会

低所得者世帯への給付型奨学金の創設……………1,200万円
教育の機会均等の観点から、新たに低所得者世帯に対する給付型奨学金制度を創設します。

一流スポーツ選手と小学生の交流……………51万円
子どもたちに夢を持つ素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを一流スポーツ選手等を招いて伝える事業を行います。

姉小路氏関連城館群の整備・活用……………356万円
飛騨市に残る山城跡（城館群）を地域の魅力・自慢と位置付け、その整備と活用を図る新たな取り組みを行います。